



●説明をする協議会の栽培管理責任者の古橋さん



●ソーラーパネル

## 田

原市は、全国的に見ても、太陽光や風力などの自然エネルギーに恵まれている地域です。

この好条件を生かし、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑える栽培方法を実証するためのモデルハウスが大久保町にあります。

このハウスでは、ソーラーパネルを天窓部と日当たりのいい南側の地面に取り付け、照明などの電力をまかなっています。重油は使わずに、電力でヒートポンプによる暖房が行われています。夜間の照明も従来の白熱電球などではなく、消費電力がより少ないLED照明が使用され、LED照明などを使用するための電力を貯めることもできます。

### ●低炭素モデルハウス

田原市、愛知みなみ農業協同組合、イシグロ農芸有限会社などで構成する田原市低炭素施設園芸づくり協議会が、低炭素施設園芸を実現するために実証実験をする施設。平成22年11月から、菊の栽培実証をしています。



### ●問い合わせ先

田原市低炭素施設園芸づくり協議会(農政課内)  
☎23局3517

HP <http://teitankyo-tahara.jp/>

他にも、断熱性を高めるため、外壁を複層にしたり、ハウス内の影を少なくするため、散乱光パネルを用いたりするなどの工夫がされ、どのように菊が育つかの実験がされています。「実証された技術を、農家さんに還元し、役立ててもらいたいです」と、田原市低炭素施設園芸づくり協議会の栽培管理責任者の古橋友雄さんは話されました。

田原市などが行う低炭素施設園芸づくりの取り組みは、これからの農業になくはならないものだと思います。菊栽培にも省エネや自然エネルギーを取り入れ、時代の変化に合わせて、変わっていくものを感じました。



## 「たね」の簡単＆おいしい『産直レシピ』

広報サポーターの「たね」が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、今回は「ブロッコリー」を使ったレシピをお届けします。

### ブロッコリーの白和え

【材料 5人分】 1人分のエネルギー93kcal

- ブロッコリー 1房(250g) ●塩 少々
- 絹ごし豆腐 1丁(350g) ●すりごま 大さじ3
- 薄口しょうゆ 大さじ1 ●砂糖 小さじ1

#### 【作り方】

- ①絹ごし豆腐は水からゆで、沸騰したらザルに上げ、キッチンペーパーなどで包み少し重石をのせて水切りをします。
- ②ブロッコリーは食べやすい大きさに切り、少量の塩を入れたお湯でゆでます。
- ③すり鉢に、絹ごし豆腐・すりごま・薄口しょうゆ・砂糖を入れ、よくすり合わせます。
- ④ゆでたブロッコリーと、豆腐の和え衣を合わせます。



クリーミーな白和えです！木綿豆腐で作ると水分の少ない硬めの食感の白和えに。白和えという名前の通り、色をきれいに仕上げるために薄口しょうゆを使っています。

この白和えの衣は、どんな具材にも合わせることができます。ハウレンソウやニンジン、春菊なども白和えにしてみても、いかがでしょうか？



\*ゆでてサラダに和えもの、スープに、生のままフリッターにと活躍するブロッコリー！田原市が愛知県内一位の生産量です。ビタミンB、C、カロチンや鉄分を多く含む地中海原産の野菜です。